

講義コード	515106002										
講義名	子どもの健康と安全 CD										
(副題)											
開講責任部署	幼児教育科（短大）										
講義開講時期	後期										
基準単位数	1										
時間	0.00										
代表曜日	金曜日										
代表時限	3 時限										
科目分類名	専門科目										
科目分野名	教科に関する科目										
対象学部・年次	短期大学部・2年										
必須/選択	選択										
担当教員											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>氏名</th> <th>所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常勤教員</td> <td>糸井 優子</td> <td>女子短期大学部</td> </tr> <tr> <td>専任教員</td> <td>教務委員会（短大）</td> <td>指定なし</td> </tr> </tbody> </table>			職種	氏名	所属	非常勤教員	糸井 優子	女子短期大学部	専任教員	教務委員会（短大）	指定なし
職種	氏名	所属									
非常勤教員	糸井 優子	女子短期大学部									
専任教員	教務委員会（短大）	指定なし									

## 授業の概要

### 1) 授業の概要

子どもの心身の健康と保健の意義、子どもの身体発育と保健の関係について理解する。  
また、子どもの心身の健康状態を把握の方法を理解し、そのうえで疾病とその予防及び適切な対応を理解する。さらに健康の概念を理解したうえで、成長発達のプロセス、生理機能、運動機能の発達を学習する。

### 2) 授業の方法

#### ①プレゼンテーションの方法

授業では、板書と配布印刷物、ICTを活用する。

#### ②授業形式

講義形式で説明する。

#### ③アクティブラーニング

グループワーク、発表（プレゼンテーション）などを行う。

#### ④課題に対するフィードバック

課題に対して随時解説を行いフィードバックする。

## 授業の到達目標及びテーマ

乳幼児の成長と発達をふまえて、保育者として求められている乳幼児の健康の保持・増進方法について学ぶ。

到達目標については、学習成果における①幼児教育観、②知識・技能、③実践力と実務能力、④人間性と協調性が該当する。特に②③を重視する。

乳幼児の健康を保持・増進するための方法として、感染予防と事故防止、そしてアクシデントや病気に対処するための技能を身につける。

## 授業計画表

## 子どもの健康と安全

回	年月日(曜日)	時限	担当教員	項目	内容	復習
第1回	令和4年09月30日(金)	3時限	糸井優子	第1回 ガイダンス 保健観点を踏まえた保育環境及び援助		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第2回	令和4年10月07日(金)	3時限	糸井優子	第2回 保育における健康及び安全管理		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第3回	令和4年10月14日(金)	3時限	糸井優子	第3回 保育における健康及び安全管理		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第4回	令和4年10月21日(金)	3時限	糸井優子	第4回 子どもの体調不良に対する適切な対応		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第5回	令和4年10月28日(金)	3時限	糸井優子	第5回 子どもの体調不良に対する適切な対応		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第6回	令和4年11月04日(金)	3時限	糸井優子	第6回 子どもの体調不良に対する適切な対応		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第7回	令和4年11月18日(金)	3時限	糸井優子	第7回 感染症対策		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第8回	令和4年11月25日(金)	3時限	糸井優子	第8回 保育における保健的対応		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
		3	糸	第9回 保	実習 手洗い・消毒液	確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐ

第9回	令和4年12月09日(金)	時限	井優子	育における保健的対応	をつくる・嘔吐物の処理・身体測定	る。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第10回	令和4年12月09日(金)	3時限	糸井優子	第10回 育における保健的対応		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第11回	令和4年12月16日(金)	3時限	糸井優子	第11回 育における保健的対応	実習 沐浴・オムツ交換・抱っこ・おんぶ・ミルク作り・授乳・等	確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第12回	令和4年12月17日(土)	3時限	糸井優子	第12回 育における保健的対応		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第13回	令和4年12月23日(金)	3時限	糸井優子	第13回 健康及び安全の管理の実施体制		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第14回	令和5年01月06日(金)	3時限	糸井優子	第14回 健康及び安全の管理の実施体制		確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第15回	令和5年01月20日(金)	3時限	糸井優子	第15回 まとめ	出来れば実習を含む	確認課題の間違った部分、理解不足な事に関しては随時回答をさぐる。欠席した授業においてもチャット等で担当糸井と確認作業を行なう。
第16回						

### 授業時間外の学修

- ・子どもや保育者に関するトピックに関心を持ち、積極的に情報収集をすること。
- ・「子どもの保健I」をはじめ、既習の知識をフル活用できるようにしておくこと。
- ・実習場面を想起できるように実習日誌等を整理しておくこと。
- ・自分の母子健康手帳を見つめ、自分の成長過程を振り返ってみよう。そして 母子健康手帳の内容やその意味を考えておくこと。
- ・毎回、授業の最後に復習課題を伝える。次の授業までに復習をすませしておくこと。

### 実務経験の有無

実務経験者が指導の一部に関わる 例：行政政策担当者・民間企業・医師等勤務経験者による講義など

### ディプロマポリシーとの関連

--	--	--	--

① 幼児教育者観	② 知識・技能	③ 実践力と実務能力	④ 人間性と協調性
○	◎	◎	○

## ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
表現力	授業内容を100%理解しており、実習に関する書類作成において実情に応じた臨機応変な対応が出来、表現力がより豊かに身につけていることが認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、実習に関する書類作成において必要な表現力が身につけていることが認められる	授業内容をほぼ70%程度理解しており、実習に関する書類作成において必要な表現力がやや身につけていることが認められる	授業内容の理解は65%以下と判断できるため、助言・新たな資料提供等の支援を行っている
実習への準備状況	授業内容を100%理解しており、実習に関して実情に応じた臨機応変な対応が出来、純分に準備が整っていることが認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、実習に関する準備が整っていることが認められる	授業内容をほぼ70%程度理解しており、実習に関する準備がやや整っていることが認められる	授業内容の理解は65%以下と判断できるため、助言・新たな資料提供等の支援を行っている

## 成績評価法 (表形式)

	評価基準	備考
定期試験	20%	レポートも含む。
小テスト等	60%	毎回提出。間違えた所、理解不足の所を何度でも確認し、クリアにする。
成果発表		
授業への貢献度	10%	保育者らしい明るい雰囲気です授業に臨む。積極的に発言する。授業の進行を妨げない。準備・片付けが出来る。
レポート	10%	学んだ事を自らの考えで表現できる。
その他		

## 課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題 (レポート等) について	模擬授業、プレゼン、発言等について
------------------	-----------------	-------------------

掲示板等に正解と講評を掲載する その都度解説、講評する	掲示板等に正解と講評を掲載する その都度解説、講評する	掲示板等に正解と講評を掲載する その都度解説、講評する
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

### ICTを活用した双方向型授業の内容

クリッカー、アンケート、小テスト等  
チャット  
掲示板の活用

### アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30～60%程度のアクティブラーニングである

### アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート (議論の場と時間) プレゼンテーション 小テストや授業内レポートの活用	実験観察・実習	授業後レポート

### 教科書

『子どもの健康と安全』中根淳子/佐藤直子 編著  
北川好郎/濱口典子/森本美恵子 みなみ書房

### SDGsとの関連

3. すべての人に健康と福祉を  
4. 質の高い教育をみんなに  
16. 平和と公正をすべての人に

### 特記事項等

#### 1) 実務経験のある教員

本科目は、実務経験のある教員（看護師、助産師、保育士、幼稚園教諭、健康運動指導士）が担当する。

#### 2) 科目のナンバリング

SUN2403

#### 3) その他の特記事項

##### 【特記事項】

#### ③オンライン授業の実施方法

Teamsによる教材提供、リアルタイム授業、小テスト、レポート等、また、ハイブリッド式授業を行う。

### 学生へのメッセージ

社会の動向とともに、子どもを取り巻く環境は良くも悪くも変化してきている。そこで健康や病気、事故の対応のみならず、予防の視点をもって、子どもたちの豊かな感性と健やかな成長と発達に責任をもってかかわられるようになってほしい。そして子どもの笑顔を引き出すことができるように共に学びましょう。

### 研究室（訪問先等）

028-667-7111（代）（非常勤講師控え室を呼び出してください）

